

岩機ダイカスト工業株式会社



代表取締役
齋藤 吉雄

宮城県
巨理郡山元町鷲足字山崎 51-2

1969年(昭和44年)設立
TEL 0223-37-3322

<http://www.iwakidc.co.jp/>

徹底的にムダを排除し
ダイカスト生産の理想を
追求

多彩な先端技術と独自の開発技術を用いて高品質・高精度を実現させながらも徹底的にムダを排除した製品づくりを顧客に提案し、高い信頼を得ている。

顧客の信頼を第一とする製品づくりと徹底的なコストダウン

同社の顧客は自動車を中心に電動工具、事務機器、家電・電子機器等と幅広いが、顧客のオーダーをそのままに製品を作るのではなく、高品質やコストに気を配った提案をすることで、高い信頼を得ている。これを実現するため同社は金型設計から製品加工までのダイカストに関する全ての工程を自社内で行うという一貫生産体制を構築。鑄造工程ではプレスまでをロボット導入による全自動システム化、また、集中溶解炉、ロンダーシステムの導入や廃熱の材料余熱への利用など、随所に省エネ・省人化や物流コストの低減、環境対応の工夫を施すなど徹底的にムダを排除した製品づくりを行っている。

※ロンダーシステム：溶解・溶湯の輸送・保持・注湯をシステム化した配湯方式

金属粉末射出成形法（MIM）を第2の柱に

同社は、長年培ってきた金型技術と米国企業との技術提携により、金属粉末射出成型法によって、従来の加工法では困難な小型の三次元的複雑形状の部品を高精度・高密度で量産することに成功した。これにより、医療機器、光通信等の分野にも進出している。

※MIM：Metal Injection Moldingの略

金属全般の射出成形を目指し、粉末焼結積層造形金型システムを導入

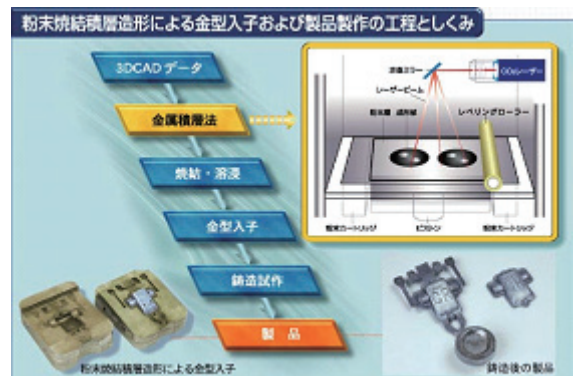
2002年に米国企業製の最新の粉末焼結積層造形金型システムを導入。3次元CADデータを基に金属粉末でダイカスト試作型を短期間で造形することが可能となり、顧客の製品開発期間の大幅な短縮に対応している。



ダイカスト製品



MIM製品



粉末焼結積層造形金型システムの工程